

ICTを活用した
手術室－講義室 同時中継講義の実施
モジュール：歯周病（歯周病学分野 和泉雄一 教授）
ユニット：歯周病のトピックス（歯周病学分野 小田茂 講師）
2009. 6. 30 歯学部歯学科5年対象
講義室担当：歯周病学分野 小林 宏明
手術担当：歯周病学分野 片桐 さやか

平成19年度現代GP採択取組の一環として、平成21年6月30日に歯学部歯学科5年生対象の「歯周病モジュール：歯周病のトピックス」講義において、手術室と講義室を結んだ同時中継を実施した（左下第一大臼歯に対するエムドゲイン投与手術）。無記名のアンケートにより学生から高い評価を得た。

講義室



手術室

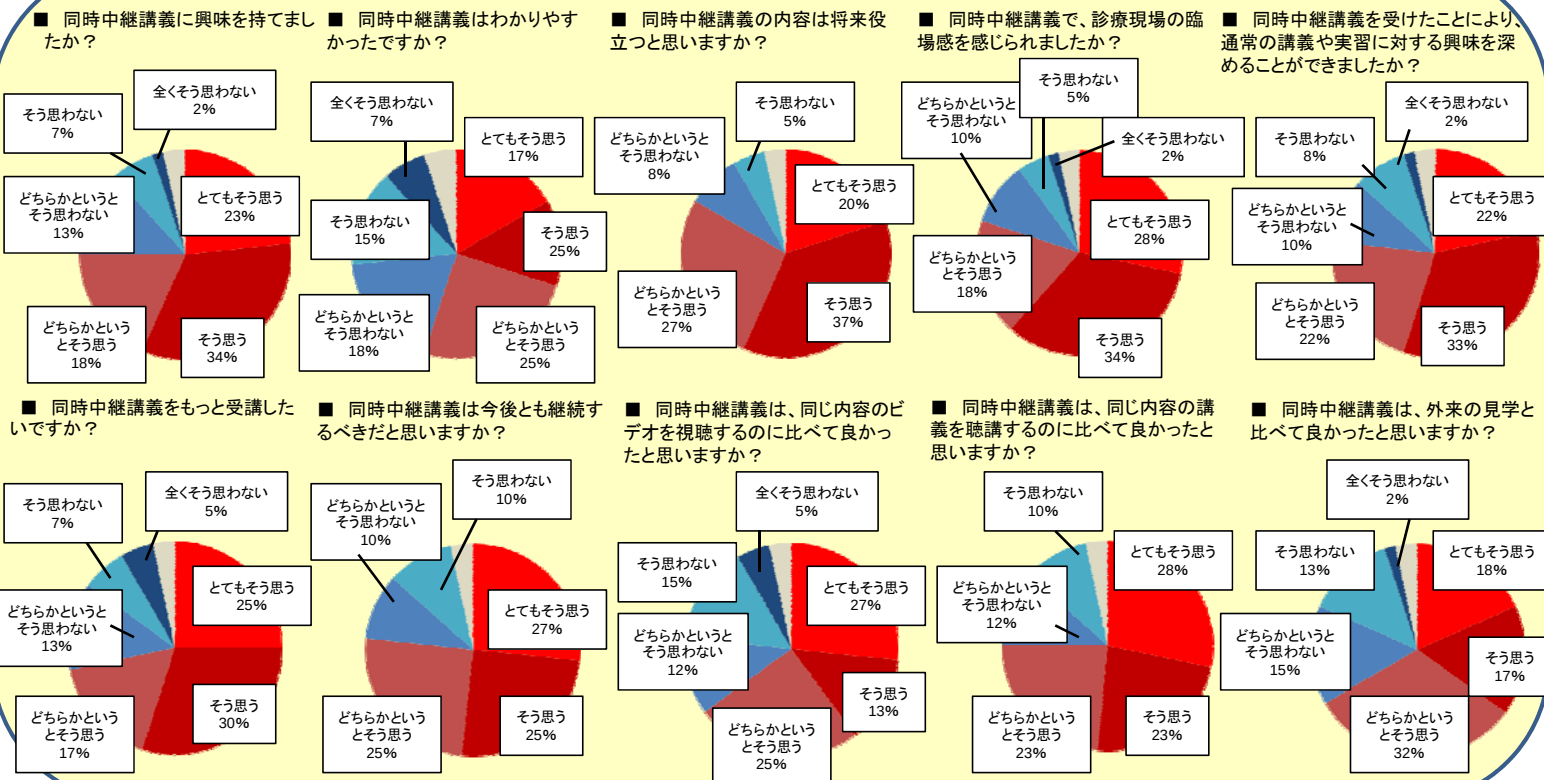
同時中継講義における学生(60名)からの評価

各質問に対し

■ 「とてもそう思う」
 ■ 「そう思う」
 ■ 「どちらかというと思う」
 ■ 「どちらかというと思わない」
 ■ 「そう思わない」
 ■ 「全くそう思わない」

の6段階で評価した

■ 無回答



■ 同時中継講義について、気づいた点、感想や意見を自由に記入してください。

- エムドゲインの講義より印象的で、記憶に残ると思います。
- 患者さんの意識もあると臨場感がすぐ出る感じがする。
- 術者と講義室の両方で話し出すと少し時間にズレがあったり声がだぶったりして聞くのは大変かもしれない。けど普通のビデオよりおもしろい。
- 見にくいのは、手元が手前に写ってしまうからしょうがないのかなあと感じました。
- 手術野が少しみえにくくて、カメラの工夫がほしかった。
- 治療部位が第一大臼歯だと位置的にカメラに映りにくい。
- もう少し通しでうつしてくれるとわかりやすかった。
- 術野が狭くて、若干見えずらくて残念だった。
- 手術しているところが暗かったり小さかったりして見にくいところがあった。
- 音声聞きとりが難しかった。
- カメラがずっと動いていたので、気持ち悪くなりました。
- カメラの位置やフォーカス、手ぶれなどで見づらい場合があった。
- 同時中継の意味がない。
- ビデオでいいと思う。
- 外来見学の方が分かりやすい。
- 手術部位がほとんど見えず意味がなかった。（同様の意見他3件）
- 映像、音響のqualityを上げてほしい。（同様の意見他2件）
- 画面のブレが大きくて長い時間見ていられない気がしました。（同様の意見他1件）